2020年6月29日

関係各位

公益財団法人東京都サッカー協会

新型コロナウイルスの対応について（6月29日時点）

～事務局の体制について～

5月25日に緊急事態宣言が解除されましたが、東京都では新規感染者が連日50人を超える状況が続いており、引き続き感染防止に努める必要があることに変わりはありません。

従いまして、7月1日以降の事務局の体制は、引き続き勤務時間を短縮しての交替勤務制を継続し、外部との会議等にはWEB利用を推進いたします。

また、電話対応は再開いたしますが、土日祝日を除く平日の11:00から13:00まで、および14:00から16:00までといたします。時間外の各種お問い合わせにつきましては、引き続き本協会ホームページに設置した『お問い合わせ』窓口（WEBフォーム）をご利用ください。

今後、感染状況に変化があった場合等の対応につきましては、日本サッカー協会および東京都等の判断も参考にしつつ、改めて検討のうえ、然るべき時にご案内させていただきます。

関係各位におかれましては、多大なご迷惑・ご不便をおかけいたしますが、本協会の対応をご理解いただき、引き続き感染拡大を防止し、感染の流行を早期に収束させることができるよう、徹底した対策実施にご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、大会・講習会等の事業再開に向けては、5月26日に発信しました「新型コロナウイルスの対応について（5月26日時点）～各種事業の再開及び事務局閉鎖の解除～」をご参照ください。 ※下線以下参照

各所属連盟に対してチェックリストを展開しておりますので、参考にいただき、感染防止対策を十分取った上で実施するようお願いいたします。

以上

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言は、5月25日に東京都を含む特定警戒都道府県でも一斉に解除され、今後は感染症防止対策を講じながら、経済社会活動を維持していかねばならないという「新しい日常」がスタートします。

「新しい日常」とは、新型コロナウイルス感染症を乗り越えていくために、暮らしや働く場での感染拡大を防止する習慣のことであり、私たち一人ひとりが実践し、引き続き感染予防を徹底し、再流行しないために最大限の注意を払う必要があることを忘れてはいけません。

については、「新型コロナウイルス感染症を乗り越えるためのロードマップ（東京都策定）」及び「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン（第1版）」に基づき、まずは各人が属している自治体、学校や会社等団体の方針、施設利用条件等に従ったうえで、所属するチームでの活動を優先することとします。

活動再開にあたっては、「JFA サッカー活動の再開に向けたガイドライン（第1版）」に示す「トレーニング活動再開に向けた留意点」（14～17ページ）及び「チェックリスト」を参考にしてください。

チームでの一定の活動期間を経ることを前提に、東京都サッカー協会では、本協会主催のすべての事業（大会・会議・研修会等）について、7月1日以降に活動を再開することを目指し、準備に入ることといたします。なお、少人数での会議・研修会等については、7月1日以前であっても、十分な感染対策を講じたうえでであれば実施も可能といたしますが、当面の間はWEB利用を推進してまいります。本協会傘下の各連盟・委員会におかれましても、原則として同様の対応にご協力いただきますようお願いいたします。